

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年 2月 6日

事業所名 はなる一む

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|---|----|-----|--|---|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 6 | | ・児童発達支援の一日の利用人数がら人を超えることがないため、適切である。 | |
| | 2 職員の配置数は適切である | 6 | | ・基準を満たす配置をしている。 | 人員基準を満たす職員配置をしています。 |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 6 | | ・荷物を置いて手洗いをするという動線も見やすい環境になっており、視覚的にもわかりやすく工夫している。 | 転倒しないように段差のない活動スペースになっており、視覚提示を行ってわかりやすいように配慮しています。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 6 | | ・毎日掃除をしている。・個別スペースや静養スペースも確保しており、掃除は毎日行っている。 | 清掃は毎日行っており、個別に活動する際はパーティションで仕切って集中できる環境を整えています。 |
| 業務改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 4 | 1 | ・業務改善のための話し合いをしている。 | 基本的には常勤職員が参画し、業務改善にあたっています。 |
| | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 5 | | ・保護者向けの評価を実施しており、以降の聞き取りを行っている。 | 安心してご利用いただけるよう、今後も務めていきます。 |
| | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 5 | | ・ホームページに表示している。改善に向けてみんなで考えている。・自己評価を行い、ホームページに公開している。 | ホームページにて掲載しております。 |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 3 | 2 | ・外部評価は行っていない。 | |
| | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 6 | | ・施設内研修を行っている。・定期的に外部研修に参加している。 | 資質向上のために今後も研修を受講していきます。 |
| 適切な支援の提供 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 5 | | ・アセスメントをもとにニーズを把握し、計画を作成している。 | お子様と保護者のニーズを可能な限り反映し、適切に計画・支援を行ってまいります。 |
| | 11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 5 | 1 | ・得意、不得意を段階に分けて記入してもらっている。 | アセスメントツールの利用とともに十分な聞き取りを行います。 |
| | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 5 | | ・二つ以上の項目を選択し、支援内容を設定している。 | お子様、保護者のニーズに沿ってガイドラインの示す支援内容から項目を選択し、計画の設定を行っています。 |
| | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 4 | 1 | ・計画に沿って支援内容を考えている。・支援計画に沿って支援を行っている。 | 児童発達支援計画をもとに日々の支援を行っています。 |
| | 14 活動プログラムの立案をチームで行っている | 5 | | ・フロアスタッフでミーティングをしている。・アセスメント後に話し合いの場を設けている。 | ミーティングを行い、意見を出し合って立案をしています。 |
| | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 5 | | ・課題は固定化しないようにしている。 | |
| | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 4 | 1 | ・個別の活動と集団の活動を組み合わせる支援を行っている。 | 通園や就学に向けての集団活動がメインではありますが、状況に応じて個別の活動に取り組んでいます。 |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 | |
|--------------|--|--|-----|---|--|---|
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 5 | 1 | ・できている日とできていない日がある。 ・その日に取り組む課題を話し合っている。 | 支援開始前には各自の役割分担を設定し、支援にあたるよう努めていきます。 |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 4 | 1 | ・できている日とできていない日がある。 ・一日の振り返りを行い、情報共有をしている。 ・利用者の様子を話し合い共有している。 | 非常勤の職員にも気付いたことを共有していけるよう取り組んでいきます。 |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 6 | | ・当日の様子を細かく記録している。 | 今後も日々の支援の記録を徹底し、改善に向けて検証していきます。 |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 5 | | ・定期的にモニタリングを行い、計画を見直している。 | 今後も定期的にモニタリングを行い、達成度に合わせて支援計画の見直しを行います。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 5 | | ・ふさわしい者を参画している。 | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 3 | 2 | | |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 1 | 4 | ・医療的ケアが必要な子どもを受け入れていない。 ・医療的ケアが必要な子どもは現在通所していない。 | 該当するお子様を受け入れる際には適切に連携を取っていきます。 |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 2 | 3 | ・医療的ケアが必要な子どもを受け入れていない。 ・医療的ケアが必要な子どもは現在通所していない。 | 該当するお子様を受け入れる際には適切に連絡体制を整えます。 |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 4 | 1 | ・送迎時などに特別なことがないか共有している。 ・園で変わったことがなかったかなど相互理解を図っている。 | 送迎時などにお子様の様子や連絡事項などの情報共有を行っています。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 3 | 2 | | |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 3 | 2 | | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 3 | 3 | ・外遊びの際に他の子どもと接する機会を作っている。 | 感染症対策の観点から、積極的に企画して交流を図ることはしていません。 |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | | 5 | | |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 5 | | ・連絡帳や送迎時に様子を伝えていく。 ・日々の送迎や連絡帳などで様子を伝え合い、共通理解を持てるようにしている。 | 引き続き、お子様の状況を共有しあって支援にあたります。 |
| 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 3 | 2 | ・お話を聞くことはしているが、ペアレント・トレーニングはしていない。 ・その都度、お困りごとに対応して事業所としてできることや相談に乗っている。 | お子様だけでなく、家族支援として寄り添っていただける事業所作りを目指します。 | |
| | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 5 | | ・契約時に説明している。 | わかりやすくご利用いただけるよう丁寧な説明を心掛けていきます。 |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 5 | | ・支援計画作成後に同意を得ている。 | 支援計画を交付し、支援内容に同意のもとでサービスの提供を行っています。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|------------|----|--|----|-----|---|--|
| 保護者への説明責任等 | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 5 | | ・その都度、お悩みに対しての相談を受け、必要な助言を行っている。 | ご相談いただく際は相互の予定を調整し、電話及び対面での対応をしています。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | 5 | ・今年度は行っていないが、以前参観を行った。 | 感染症対策の観点から、現在は行っていません。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 5 | | ・迅速に対応している。 | お子様や保護者からのご相談や申し入れに対し、今後も迅速な対応ができるよう努めていきます。 |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 5 | | ・管理システム上で活動の様子や月ごとの予定を閲覧でき、メッセージで連絡を取り合える。 | 利用予定や行事予定などの連絡体制は整えています。 |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | 6 | | ・鍵付きの書庫に保管している。 | 個人情報については鍵付きの書庫に保管し、十分に注意しています。 |
| | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 5 | | ・わかりにくい内容の場合はかみ砕いた説明を心掛けている。 | しっかりと情報が伝わるように配慮した説明を行います。 |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | 5 | | 感染症対策の観点から、地区住民の招待を行っていません。 |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 5 | | ・マニュアルに沿って訓練をしている。 ・各マニュアルを策定している。 | 各マニュアルを策定し、事業所に設置しています。ホームページへの記載も検討しています。 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 4 | 1 | ・定期的に避難訓練を行っている。 | 非常災害の発生を想定し、防災センターの体験・見学などを企画しています。 |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 5 | | ・アセスメント時に確認をしている。 | アセスメントを行う際に既往歴や服薬状況について聞き取りを行っています。 |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 3 | 2 | | 医師からの指示書はないが、アレルギーについては把握しています。必要に応じて医師からの指示を仰ぎます。 |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 5 | | ・職員で共有し、振り返りを行っている。 ・ヒヤリハットを作成し、事業所内で共有している。 | ヒヤリハットを作成し、回覧して共有しています。 |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 5 | | ・定期的に研修を受けている。 | 定期的に外部の虐待防止研修を受講しています。 |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 5 | | ・やむを得ず身体拘束を行う場合には、事前に必ず同意を得ることを説明し、押印をいただいている。 | 身体拘束を行った前例はないが、やむを得ない場合のみ同意を得たうえで計画に記載する旨の説明を行っています。 |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

別添資料6

公表:令和6年 2月 6日

事業所名 はなる一む

保護者等数(児童数) 7 回収数 5 割合 71.4 %

| | | チェック項目 | 評価 | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|------------------|----|--|----|---------------|-----|-----------|----------------------------------|--|
| | | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わから ない | | |
| 環境・ 体制整備 | 1 | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている | 5 | | | | | 定員数に十分なスペースを確保しています。 |
| | 2 | 職員の配置数や専門性は適切である | 4 | | | 1 | | 十分な職員の配置をしています。 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 5 | | | | | 荷物を置き、手洗いをするという動線を確認し、その日のスケジュールは分かりやすいように視覚提示しています。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 5 | | | | | 個別の課題を落ち着いてできる空間を確保しています。 |
| 適切な 支援の 提供 | 5 | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている | 5 | | | | | アセスメントによる聞き取りを十分にを行い、事業所でできる課題を設定しています。 |
| | 6 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 5 | | | | | お子様に負担がかかりすぎないように項目を設定し、具体的な支援方針を決定しています。 |
| | 7 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 5 | | | | | 支援計画に沿った支援を行っています。 |
| | 8 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている | 5 | | | | ・いつも様々なプログラムを考えてくださり、ありがとうございます。 | 子どもたちが楽しんで取り組めるようプログラムを組んでいます。 |
| | 9 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 3 | 1 | 1 | | ・あんまりないように思います。 | 感染症対策のため普段は自粛していますが、課外活動の際には交流の機会があります。 |
| 適切な 支援の 提供 | 10 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた | 5 | | | | | 契約時に説明を行っています。 |
| | 11 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた | 5 | | | | | 作成した支援計画に同意を得たうえでご利用いただいております。 |
| | 12 | 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている | 3 | 2 | | | | その時々でお困りごとなどのご相談に対応させていただいています。 |
| | 13 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか | 5 | | | | ・日ごろから様子を伝えてくださっていて安心しております。 | 日ごろの様子やお子様の状況を送迎時や連絡帳、メッセージを通して情報交換をしています。 |
| | 14 | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている | 4 | 1 | | | ・いつもお話を聞いてくださりありがとうございます。 | 定期的にお電話やアセスメントを行い、対応しています。 |
| | 15 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている | 1 | | 2 | 2 | ・保護者同士で何か、というのも今までない気がします。 | 感染症対策のため、自粛しています。 |
| | 16 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている | 5 | | | | | ご相談の申入れがあった場合は当日のうちに電話での対応になることが多いです。 |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | わから ない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|---------|----|--|----|---------------|-----|-----------|---|--|
| | 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている | 5 | | | | | メッセージの他に連絡帳にもコメントを残せるようにしており、管理システムにログインすれば情報が得られるようになっています。 |
| | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている | 5 | | | | | 管理システムにログインしていただくと活動概要、行事予定などを確認できるようになっています。 |
| | 19 | 個人情報の取扱いに十分注意されている | 5 | | | | | 鍵付きの書庫に保管しています。 |
| 非常時等の対応 | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている | 5 | | | | | 各マニュアルを策定しており、事業所に掲示しています。防災訓練や避難訓練なども定期的に行っています。 |
| | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている | 4 | | | 1 | | 非常災害時の安全対策を行っています。 |
| 満足度 | 22 | 子どもは通所を楽しみにしている | 4 | | | 1 | ・また時期が来れば通所ができるようになると思います。 | 楽しく通っていただけるよう善処します。 |
| | 23 | 事業所の支援に満足している | 5 | | | | ・いつもありがとうございます。 ・子どもも大好きで楽しく通っております。 | 引き続き、お子様やご家族様に寄り添った支援を目指します。 |

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年 2月 6日

事業所名 はなる一む

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--|--|----|---|--|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 6 | | ・余裕をもって過ごすことができるよう配慮している。・定員数に十分なスペースを確保している。 | 基準を満たした余裕あるフロアになっています。 |
| | 2 職員の配置数は適切である | 6 | | ・基本的にマンツーマンになれるタイミングを多く作っている。・基準を満たす配置をしている。 | 人員基準を満たす職員配置をしています。 |
| | 3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 5 | | ・段差をなくしている。・過ごしやすい空間への配慮をしている。 | 転倒しないよう、段差がない活動スペースを確保しています。 |
| 業務改善 | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 5 | | ・フロアスタッフで振り返りやミーティングをしている。・業務改善のための話し合いをしている。 | 基本的には常勤職員が参画し、業務改善にあたっています。 |
| | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 5 | | ・保護者向け評価表、アセスメント等により意向の聞き取りを行っている。 | 安心してご利用いただけるよう、今後も務めていきます。 |
| | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 5 | | ・ホームページで公開している。 | |
| | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 2 | 3 | ・外部評価は行っていない。 | |
| 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 5 | | ・すみずみ研修や社内研修を行っている。・施設内研修を定期的に行っている。・定期的に外部研修に参加している。 | 資質向上のために今後も研修を受講していきます。 | |
| 適切な支援の提供 | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 5 | | ・ニーズに沿って現在の課題に対する支援計画を作成している。 | お子様と保護者のニーズを可能な限り反映し、適切に計画・支援を行っていきます。 |
| | 10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 5 | | ・得意、不得意を段階に分けて記入してもらっている。 | アセスメントツールの利用とともに十分な聞き取りを行います。 |
| | 11 活動プログラムの立案をチームで行っている | 5 | | ・フロア内のスタッフで定期的にミーティングをしている。・アセスメント後に話し合いの場を設けている。 | 今後も様々な意見を出し合って立案していきます。 |
| | 12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 6 | | ・曜日によって内容を変えている。・活動の内容をみんなで考え、成長に合わせて反映している。 | |
| | 13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 6 | | ・平日と休日のプログラムを分け、充実するよう考えている。・平日と休日、長期休暇の活動は明確に分けて設定している。 | 休日や長期休暇には特別感が持てるよう、今後も楽しんで取り組めるような課題を設定していきます。 |
| | 14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | | ・個別で対応する時間と集団で過ごす時間の両方を取っている。・一日の流れに個別活動と集団活動を設定しており、組み合わせで計画している。 | 個別に集中できる状況と、集団で活動を行える状況を計画的に提供していきます。 |
| | 15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 5 | 1 | ・できている日とできていない日がある。・朝礼でミーティングをしている。 | 支援開始前には各自の役割分担を設定し、支援にあたるよう努めていきます。 |
| | 16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 4 | 1 | ・気付いたことがあった際にだけ話を共有している。・一日の振り返りを行っている。・各利用者の様子を話し合っ共有している。 | 非常勤の職員にも気付いたことを共有していけるよう取り組んでいきます。 |
| | 17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 5 | | ・連絡帳、業務日報を通して記録を取り、見直しながら改善に取り組んでいる。・書類を作成し、改善につなげている。 | 今後も日々の支援の記録を徹底し、改善に向けて検証していきます。 |
| 18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 5 | | ・子どもたちの様子を振り返り、話し合う機会を作っている。・職員の話し合いのもと、モニタリングを行い課題の達成度を見直している。 | 今後も定期的にモニタリングを行い、達成度に合わせて支援計画の見直しを行います。 | |
| 19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 5 | | ・他者とのコミュニケーションや学習など、複数の活動を組み合わせている。 | ガイドラインの総則に沿って支援を行っていきます。 | |

| | | | | | | |
|--------------|---|---|---|--|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 5 | | ・ふさわしい者を参画している。 | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 5 | | ・保護者や学校と連携を取っている。・年間計画や行事は保護者を通じて情報を共有している。送迎時の対応は事前に打ち合わせをしている。 | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 5 | | ・医療的ケアが必要な子どもは今のところ利用がないが、今後利用になる場合は体制を整える。 | 該当するお子様を受け入れる際は適切に連絡体制を整えます。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 3 | 2 | ・保育所、幼稚園に訪問し、子どもたちの情報共有をしている。・卒園した幼稚園や保育所とその後情報共有をすることはほばない。 | 情報共有が必要か慎重に検討し、対応にあたります。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 2 | 3 | ・現時点では該当者がいないが、今後そのような場面ではしっかりと情報共有を行う。・放デイから障害福祉サービスへの移行はまだないが、必要な情報提供は行う。 | 障害福祉サービスへの移行がスムーズに進むよう、情報提供を行える体制を整えます。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 1 | 4 | ・児童発達支援センターとの連携はないが、今後助言や研修に参加したい。 | 専門機関との連携を図れるよう研修の情報などを精査していきます。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 2 | 3 | ・外出活動を通して交流を持つ機会を設けている。・外出活動の際に交流することがある。 | 外出活動を通じて交流を行うことで、社会のルールやマナーを身に付けることができるよう取り組んでいきます。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | | 5 | ・現在は参加できていないため、今後は参加を検討したい。 | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 5 | | ・連絡帳や面談を通して情報共有している。・連絡帳や電話でその都度情報共有をしている。 | 引き続き、お子様の状況を共有しあって支援にあたります。 |
| 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 4 | 1 | ・モニタリング時にお話を聞くことはあるがペアトレは行っていない。・お悩みや相談は随時、時間を作ってもらい聞き取りをしている。 | お子様だけでなく、家族支援として寄り添っていきける事業所作りを目指します。 | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 5 | | ・契約時に説明している。 | わかりやすくご利用いただけるよう丁寧な説明を今後も心掛けていきます。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 5 | | ・電話などで現在のお悩みの相談を受けている。 | ご相談いただく際は相互の予定を調整し、電話及び対面での対応をしています。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 1 | 4 | ・参観をしている。・今年度は行っていないが、過去に参観を行い、保護者同士の交流も行った。 | 感染症対策の観点から、現在は行っていません。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 5 | | ・苦情については適切に対応し、再発防止に努めている。 | 安心してご利用いただけるよう、迅速で適切な対応に努めていきます。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 5 | | ・管理システム上で活動の様子や月の予定を閲覧することができ、メッセージで連絡を取り合うことができる。 | 利用予定や行事予定などの連絡体制は整えています。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 6 | | ・注意している。 | 個人情報については鍵付きの書庫に保管し、十分に注意しています。 |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 4 | 1 | ・わかりにくい内容であるときはかみ砕いた説明をしている。 | しっかりと情報が伝わるように配慮した説明を行います。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 1 | 4 | ・イベントの中でコンビニの店員さんとの関わりを持ったが、招待はしていない。 | 感染症対策の観点から、地区住民の招待を行っていません。 |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|---|--|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 5 | | ・各マニュアルを策定している。 | 各マニュアルを策定し、事業所に設置しています。ホームページへの記載も検討しています。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 5 | | ・年に数回訓練をしている。 | 非常災害の発生を想定し、防災センターの体験・見学などを企画しています。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 5 | | ・施設内研修を行っている。・定期的に外部研修に参加している。 | 虐待防止研修を受講しています。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 5 | | ・やむを得ず身体拘束を行う場合には事前に必ず同意を得ることを説明し、押印をいただいている。 | 身体拘束を行った前例はないが、やむを得ない場合のみ同意を得たうえで計画に記載する旨の説明を行っています。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 4 | 1 | | 医師からの指示書はないが、アレルギーについては把握しています。必要に応じて医師からの指示を仰ぎます。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 5 | | ・職員で振り返りを行い、対策を考えている。・事業所内で共有している。 | ヒヤリハットを作成し、回覧して共有しています。 |

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

別添資料11

公表: 令和6年 2月 6日

事業所名 はなる一む 保護者等数(児童数) 15 回収数 13 割合 86.7 %

| | チェック項目 | 評価 | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|-------------------|---|----|---------------|-----|-------|---|---|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 11 | 2 | | | ・見ていないのでわかりません。 | 定員数に十分なスペースを確保していますが、わかりやすい支援を目指していきます。 |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 11 | 2 | | | ・見ていないのでわかりません。 | 十分な職員の配置をしていますが、適切な運営を心がけます。 |
| | 3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 10 | 2 | 1 | | ・わかりません。 | 手すりはありませんが、段差のないスペースにしています。 |
| 適切な 支援の 提供 | 4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか | 13 | | | | ・かなり詳しい聞き取りをしております。計画も十分です。 | アセスメント時に現在のお困りごとなどを詳しく聞き取り、支援計画を作成しています。 |
| | 5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか | 12 | 1 | | | ・毎度、楽しめるプログラムになっており、子どもが飽きないようになっていると思います。 | お子様が楽しんで取り組めるよう、プログラムを作成しています。 |
| | 6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 1 | 9 | 3 | | ・知りません。 | 感染症対策のため普段の活動では自粛していますが、課外活動時は交流の機会があります。 |
| 保護者 への 説明等 | 7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 13 | | | | | 契約時に説明を行っています。 |
| | 8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 11 | 2 | | | ・HUGなどを通じて日々の様子をわかりやすく伝えてくださりありがとうございます。 | 日ごろの様子やお子様の状況を送迎時や連絡帳、メッセージを通して情報交換をしています。 |
| | 9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 12 | 1 | | | ・アセスメントではいつもたくさんお話を聞いてくださりありがとうございます。 | 定期的にお電話やアセスメントを行い、対応しています。 |
| | 10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 1 | 6 | 6 | | ・保護者会は待たなくて大丈夫です。・保護者会があるのかわかりませんが、一度も参加したことはありません。 | 感染症対策のため、自粛しています。 |
| | 11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 11 | 1 | 1 | | | 対応・体制の周知に努めます。 |
| | 12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 11 | | 2 | | | 情報伝達のための体制は整っているため、その利用法に対する周知に努めます。 |
| | 13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 10 | 2 | 1 | | | 管理システムにログインしていただく活動概要、行事予定などを確認できるようになっています。 |
| 14 個人情報に十分注意しているか | 13 | | | | | 鍵付きの書庫に保管しています。 | |
| 非常時 等の 対応 | 15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 6 | 6 | 1 | | | 各マニュアルを策定しており、事業所に掲示しています。玄関だけでなく、HPへの掲載も検討します。 |
| | 16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 6 | 5 | 2 | | ・訓練が行われているか知りません。 | 年に2回行い様子を掲載していることを広く周知できるよう心がけます。 |
| 満足 度 | 17 子どもは通所を楽しみにしているか | 10 | 3 | | | ・今、不安定な状況で、この場所が嫌いではないと思います。 | 楽しんで通所していただけるよう支援を行っていきます。 |
| | 18 事業所の支援に満足しているか | 12 | | 1 | | ・いつもありがとうございます。とてもよくて頂いていますので不満等、何もありません。 | 引き続き、お子様やご家族様に寄り添った支援を目指します。 |

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。